

LANケーブル **自作工具キット**

取扱説明書

ご使用になる前によくお読みください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。 最新の情報は、弊社WEBサイト(https://www.sanwa.co.jp/)をご覧ください。





詳しい加工方法は、LANプロをご覧ください。

CAT6Aケーブル、CAT6ケーブルの詳しい自作方法や、

最新情報をご提供しています。



LAN ケーブル加工方法

CAT6Aの自作例



モジュラーカバーを先に取付けておきます。



外皮むき工具の刃の長さを調整して おきます。



外皮をむく長さを決めます。 (日安6cm程度)



芯線を揃えたら、写真のようにハサミ などで切り落とします。



プラグを写真のように差し込みます。



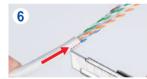
左右に軽くねじりながら、写真のようになるまで押し込みます。



皮むき工具で外皮を切断します。



外皮を取除き、芯線に傷がついて いないか確認します。



外皮をカッターナイフで1cm程度、 切ります。



より戻しを短くするために、ペンチなど で芯線を挟み軽く引っ張ります。



外皮むき工具にはめ込み、強く握ると 芯線が切断できます。



切断後、プラグが欠けていないことを確認します。※切り落とす際に、プラグの向きが傾いていると角の部分が欠けてしまうので注意してください。



内部にある十字フィラーを、切れ目に合わせて折り曲げ、ハサミなどで根元から切り落とします。



レバーを矢印の方に動かして スパイキを出します。



次にプラグにフタを軽く取付けます。 外皮むき工具にケーブルセットし、工具を握り しめるとフタが取付けられます。



フタが取付けられているか確認します。



モジュラーカバーをコネクタに 取付けます。



スパイキを使って、各ペアのよりを 戻していきます。



写真のようにスパイキを親指と人差し指で挟み、そのまま先端方向に引きます。



よりをまっすぐに戻したら、加工する規格に合わせて線の位置を変更します。 (写真は T568B)



かしめ工具を使い、かしめます。



かしめられているかを確認し 完成です。

